



取扱説明書 hi-POWER DOWN GP MUFFLER

適用機種：GROM

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

- 販売店様へ この取扱・取付説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。
- お客様へ この取扱・取付説明書は、必ず保管してください。

安全上の注意事項

必ず取扱説明書に書かれていることを厳守して作業を行なって下さい。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

1. 製品包装のビニール袋は、子供や幼児がかぶったり吸い込んだりしないよう、
手の届かないところに片付けるか、廃棄処分すること。（窒息の危険があります。）
2. 各取付ボルト及びナットは、規定トルクを厳守し、締め付けること。
(ボルト及びナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等によって怪我や、死亡事故につながる恐れがあります。)
3. エンジンを始動する場合、換気の良い場所で行なうこと。
(排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
4. エンジン回転中や停止後しばらくの間は、マフラーは高温になっています。
・絶対に近くにガソリンなどの危険物や、燃えやすい布などを置かないこと。（火災の原因になります。）
・絶対に人や動物などが触れない場所にとめ、触らないようにすること。（火傷の原因になります。）
5. 構造上最低地上高が低くなる場合がある為、マフラーを接地させる無理な運転操作や段差等で
マフラーが擦らないよう注意して下さい。
(マフラーを接地させるような運転を行うと、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。)
6. 法定速度を守り安全運転をすること。
(転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。)
7. マフラーが、フレームやオイルライン等に干渉したままエンジンを始動したり、走行しないこと。
(火災の原因や、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。)
8. 本書は、国家検定整備士資格を持った方を対象にしています。整備士資格をお持ちでない方は、
信頼のおけるお店に取り付けを依頼して下さい。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び、
物的障害の発生が想定される内容を示します。

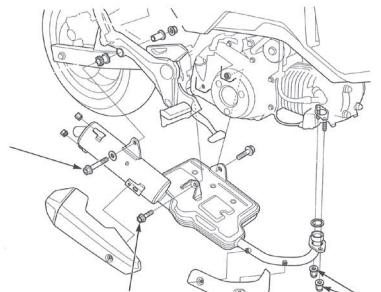
1. 指定車種以外の装着は行わないこと。（製品の機能が損なわれ、故障等の原因になります。）
2. 製品を分解、加工、改造をしないこと。（製品の機能が損なわれ、故障等の原因になります。）
3. エンジンが冷えてから作業をすること。（エンジンが熱い状態で作業をすると火傷の原因になります。）
4. 水平な場所で、車体を安定させてから作業を行うこと。
(作業中オートバイが倒れて怪我をする恐れがあります。)
5. 作業する時は怪我防止の為、作業手袋を着用しエッジ部に気をつけて作業行って下さい。
(エッジ部はバリ等がある可能性がある為、手など切ったり怪我をしないよう注意して作業を行なって下さい。)

hi-POWER DOWN GP MUFFLER

INSTRUCTIONS MANUAL 取扱説明書

①純正マフラーを外します。

車両のサービスマニュアルを参考にして、純正の
マフラー部分およびエキゾースト部分を取り外します。
(取外したボルト類は元に戻す際に必要になりますので
保管して下さい。)



図①

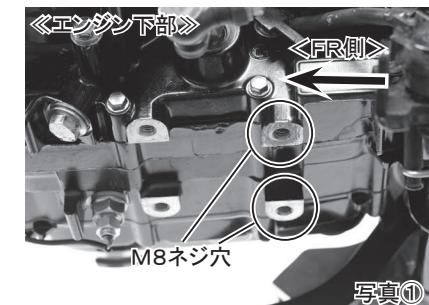
※純正マフラーは非常に重たいので、落とさないように注意すること。

②マフラーステーを取り付けます。

写真①の○印部のネジ穴（エンジン下部、後ろ側2ヶ所）
を使用します。
付属のボタンボルトM8×10mm 2本を使って、写真②の
ようにマフラーステーを固定します。

＜締付けトルク＞ 22 N·m

このとき写真②のように、あらかじめラバー42mmを
マフラーステー部に両面テープやシリコンガスケットなどで
取り付けておきます。



写真①

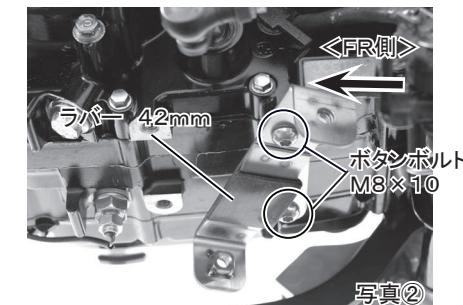
③フロントエキゾーストパイプを仮組みします。（写真③）

このとき、ガスケットは付属の新品をご使用下さい。

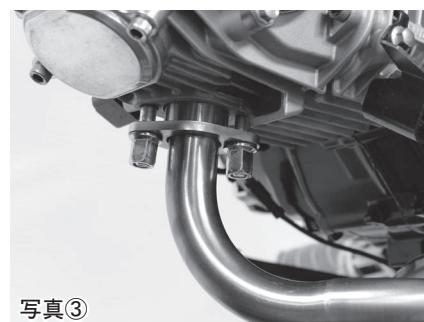
④マフラーを仮組みします。

先ほど、仮組みしたエキゾーストパイプにマフラーを
差込みます。このとき、マフラーは奥までさし込んで下さい。

※マフラーバンドはまだ取付けないで下さい。
(メガホンエンドが取付けられなくなります。)



写真②



写真③



※ガスケットは付属の
新品をご使用下さい。

⑤メガホンエンドを取付けます。

マフラーとエキゾーストパイプが仮組み状態（写真⑤）でメガホンエンドを取り付けます。

※マフラーとエキゾーストパイプを先に固定してしまうと、メガホンエンドが取り付けにくくなりますのでご注意下さい。

取り付けたら純正のボルト、ナットを使用してメガホンエンドを仮止めします。（写真⑦、⑧、図②参照）



写真⑤



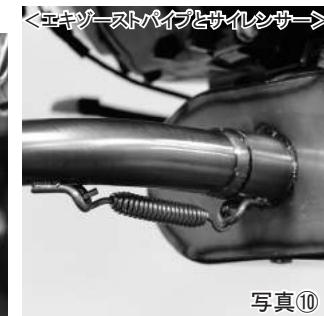
写真⑥

⑥スプリングを取付けます。

マフラーとエキゾーストパイプ、テールパイプとサイレンサーの2ヶ所にスプリングを取り付けます。（写真⑨、⑩）



写真⑨



写真⑩

⑦マフラーバンドを取付けします。

マフラーバンドに付属のラバー（205mm）を取付けてから、ボタンボルトM8×10mmを2本使ってマフラーを仮組みします。（写真⑪）



写真⑪

⑧各部のボルトを締付けトルクで固定します。

エキゾーストパイプロ元、マフラーバンド、サイレンサーのボルト、ナットを締付けトルクで固定します。

＜締付けトルク＞

- ・エキパイロ元部ナット：19 N・m（写真③）
- ・マフラーバンド部M8ボタンボルト：22 N・m（写真⑪）
- ・メガホンエンドステーM 8 ナット： 27 N・m（図②）



写真⑫

⑨各部の締付けチェックをします。

車両のマニュアルを参考にして、取外した部品を元に戻します。その後、各部の締付け確認をして問題無ければ完成です。

●走行する前に

マフラーやエキゾーストパイプ部分に、手の油分などが付着している状態でエンジン始動をしてしまうと指紋や油分が焼きついてしまいます。エンジン始動する前には、必ずマフラーやエキゾーストパイプ部分に付いた手の油分や指紋を脱脂剤などできれいに拭き取って下さい。また、JMCA プレートにビニールが付いている場合は剥がします。

●メンテナンスについて

洗車時には、マフラー後部の穴に栓などをして穴を塞いでから洗車を行って下さい。栓をしなかった場合、内部に水が入ってしまい、破損の原因になる恐れがありますのでご注意下さい。また、ボルトの緩みなどは定期的に点検を行うようお願いします。

注意

1. 本製品のパーツリストをもとに部品をご確認してから製品の取付をお願いします。
2. ネジ・ナット部に耐熱グリスを塗布してから、組み付けて下さい。
3. 取付・調整が終りましたら、各部分のボルト・ナットの締め忘れが無い様にご注意下さい。
4. 取外した純正部品（ボルト等）は元に戻す際に必要になりますので、必ず保管して下さい。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※当社の取り扱い説明書等、十分ご確認の上ご使用下さい。

※当社製品以外の保証は一切お受けできませんので予めご了承下さい。

※製作方法上、サイレンサー単体を振ったりすると内部から音がする事がありますが、性能・音量等に問題はありません。上記の理由でのご返品はお受け出来ないことを、予めご了承下さい。



写真⑧